

東京工業大学 建築物理研究センター 主催
日本鉄鋼連盟 建築鋼構造研究関東地区サブネットワーク 共催

2013 年度連続講習会 第 2 回

【講習題目】 制振構造の基本原理と応用事例

【講 師】

岩田 衛（神奈川大学）

講演題目：汎用性の高い座屈拘束ブレースの研究

講演内容：座屈拘束ブレースは耐震要素として幅広く使われている。制振構造における履歴ダンパーとしても利用されている。本講演は岩田研究室で長年研究しているものについて概説する。

笠井和彦（東京工業大学）

講演題目：鋼材ダンパーをもつ鉄骨構造の応答制御設計

講演内容：鋼材ダンパー（座屈拘束ブレース、せん断パネルなど）を用いた制振鋼構造について、設計時に設定された目標性能を満たすダンパー容量と各階への配分を決定する簡易算定法を述べる。

藤澤一善（日本鉄鋼連盟建築委員会、JFE スチール㈱）

講演題目：鋼構造による「災害に強い社会資本整備」に向けた提案

講演内容：東日本大震災の復旧・復興、今後想定される南海トラフ地震など大規模災害への対策、そして老朽化が進む社会基盤ストックの更新などに貢献する鋼構造技術・工法を提案する。

鈴木孝彦（日本鉄鋼連盟建築委員会、新日鐵住金㈱）

講演題目：鉄骨梁端溶接接合部の脆性的破断防止ガイドライン

講演内容：兵庫県南部地震で数多く見られた鉄骨造建築の梁端溶接接合部の脆性的破断現象を防止するための梁端接合部設計法と梁端接合部溶接施工法について述べる。

【日 時】 2013 年 12 月 17 日（火） 13：00～17：00
（12：30 開場）

【会 場】 東京工業大学 大岡山キャンパス
西9号館2階コラボレーションルーム
東京都大岡山2-1 2-1
(東急大井町線, 目黒線大岡山駅より徒歩1分)



【主 催】 東京工業大学建築物理研究センター センター長
日本鉄鋼連盟鋼構造研究関東地区サブネットワーク関東地区幹事
笠井和彦 (東京工業大学 教授)

【問い合わせ】 東京工業大学 五十嵐規矩夫
E-Mail ikarashi.k.aa@m.titech.ac.jp TEL 03-5734-3158